

医療情報研究室

室長 岡垣篤彦

当院の病院情報システムは「カード型カルテ」と呼ぶユニークな入出力インターフェースを実装していますが、これは、ベンダー製電子カルテの使い勝手を安全かつ簡易に大幅に向上する仕組みで、当院で開発されたものです。電子カルテを使用する医療スタッフの要望を大きく取込むことが出来るという特徴があります。この仕組みを有効に使用するために当研究室ではいろいろな研究を行なって来ましたが、今後も各部門の要望を盛り込みつつ、更なる操作性の向上を図り、医療の質の向上に貢献するシステムへと発展させていきたいと思っております。平成 25 年度は電子カルテ化がきわめて困難であるとされている救命救急外来(ER 外来)用電子カルテを作成し、実用に供しています。これまでは入力診療のスピードについて行けないため手書きメモで運用されており、記載漏れ、コスト漏れが多かったのですが、これらの問題を一気に改善するものと期待されています。

当院の病院情報システムは一般的なベンダー製システムと比べて蓄積された医療情報を安全かつ容易に利用できるという特徴を持っており、病院情報システムの膨大なデータをファイルメーカー、あるいはアクセスといった使いやすいツールに転送し、セキュリティを保持するための一定のルールを守った上で自在に分析する環境が整っています。褥瘡管理、病棟安全管理、感染情報管理、栄養指導等に使いやすい形で供給しています。本年度は MBL 耐性菌の感染という残念な事態がございましたが、国立感染症研究所のスタッフと連携し、感染経路の追跡のためのアプリケーションを当研究室ですみやかに作成し提供しました。複数の耐性菌を一度にトレースできる細菌検査結果表示、転棟転室履歴、手術情報、スタッフ情報、ドレーンの有無等を一覧出来るシステムですが、今後の感染管理に役立つものと期待しています。

東北大震災以来、病院情報システムを緊急時にいかに運用するべきかという議論が盛んに行なわれています。当院は災害時の防災拠点であるため、災害時の救急治療に貢献するシステムの研究も行なっています。災害用電子カルテ、災害対策本部用掲示板システムの作成および災害訓練での運用を行いました。平成 25 年度は当院に日本 DMAT 事務局が新設され、定光班の「南海トラフ巨大地震の被害想定に対する DMAT による急性期医療対応に関する研究」が厚生労働省の特別指定研究に指定されましたが、被災地に救援に赴く DMAT チームが携行すべきアプリケーションを当研究室で作成し、さらにシミュレーションを行った結果を提供しました。次年度も同種の研究に協力する予定としています。

この他に、平成 23 年度 NHO 研究「DPC 参加施設におけるクリティカルパス行程内容の差異が収支に及ぼす影響に関する研究」にデータを提供した経験を生かして病院経営、DPC 分析のデータも作成して行きたいと計画しています。

【2013 年度研究発表業績】

A-1

岡垣篤彦: 医療現場の IT 化に尽力した加藤五十六先生。J-SUMMITS 連載コラム「電気羊はユーザーメイドがお好き!?!」 Tech Target Japan

<http://techtargget.itmedia.co.jp/tt/news/1305/31/news04.html> 2013 年 5 月 31 日

A-5

岡垣篤彦: ユーザーの要望を病院情報システムに取込む「カード型カルテ」の実装。第 33 回医療情報連合大会論文集(Suppl.).24-27.2013 年 11 月

B-1

Okagaki A:A Case report of Osaka National Hospital Why is FileMaker used widely in Japanese Hospital

FileMaker Developer Conference, Medical session (Symposium) 2013年8月15日、サンディエゴ、アメリカ合衆国

B-3

岡垣篤彦: シンポジウム、ユーザーメイドシステムとベンダー製システムとの調和・融合。ユーザーの要望を病院情報システムに取込む「カード型カルテ」の実装。第 33 回医療情報学連合大会 2013 年 11 月 22 日、神戸

B-4

岡垣篤彦、定光大海: 災害用電子カルテの実装と試験運用。第 17 回医療情報学会春季大会 2013 年 6 月 21 日、富山

B-5

岡垣篤彦: FileMaker によるがん患者登録システムの構築と病院情報システムとの接続 第 18 回 北海道広域医療連携研究会 特別講演 2013 年 10 月 19 日、帯広

岡垣篤彦：災害救援チーム配置最適化支援ソフトウェアの作成。第3回 BCP 研究会 特別講演 2014年3月1日、国立病院機構 名古屋医療センター